

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果(平成24年度)の概要

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑤農林水産業分野(4/7)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの 平均値に IIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
たたらの里山再生特区(雲南市)	準	B 4.2	B 4.4 進捗度 ・里山放牧面積 104% ・まちづくり活動に参画する市民の割合 99% 等	B 4.0 規制の特例等 ・農地取得に係る下限面積の引き下げ 等 財政支援等 ・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(交流施設の整備) 等 地域独自の取組 ・地域づくり活動等交付金(地域自主組織への活動支援) 等	±0.0	<p>・<u>合同会社(※1)や市民参加型の林地残材搬出・活用については大いに評価できる</u>。地域通貨(※2)のより広範囲な利用開拓を含め、<u>さらなる成果を期待したい</u>。</p> <p>・現在は<u>様々な事業の芽が出始めた段階(※3)</u>であり、その限りでは計画の進捗はみられている。各事業が実績をあげていくかどうかは今後の頑張りに委ねられている。</p> <p>※1:平成24年6月20日に「合同会社グリーンパワーうんなん」を設立。森林資源の収集システムの稼働、林地残材の収集・運搬講習会の開催、地域通貨制度の導入、国庫補助事業(森林整備加速化・林業再生事業)等に取り組んでいる。</p> <p>※2:合同会社は、林地残材を収集する際に3,000円/t程度の地域通貨(地元商店街で利用可)を上乗せして買い取る仕組みを構築。</p> <p>※3:地域通貨については、平成24年度は2町に限定して実施したが、平成25年度からは6町に拡大して実施予定。鳥獣被害の少ないスパイス等の栽培に取り組むスパイスプロジェクトなど各種プロジェクトへの市民参画の機運も醸成されている。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 *2)「III」については、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。